

トラック協会杯第30回全道少年団(U-11)サッカー大会釧路地区予選

開催要項

1. 目的 釧路地区の少年サッカーのレベル向上を図るとともに、平成30年度トラック協会杯第30回全道少年団(U-11)サッカー大会に釧路代表として出場するチームを決定する。
2. 名称 トラック協会杯第30回全道少年団(U-11)サッカー大会釧路地区予選
3. 主催 釧路地区サッカー協会 釧根地区トラック協会
4. 主管 釧路地区サッカー協会4種委員会
5. 後援 釧路町教育委員会、釧路市教育委員会
6. 期日 平成30年8月25日(土)、26日(日)
7. 会場 釧路町運動公園多目的広場、音別町運動公園
8. 参加資格 ① 平成30年度(公財)日本サッカー協会第4種・女子に加盟登録したチーム及び選手。
② 選手エントリーは16名以内とし、5年生以下の学年構成とする。
③ 本大会参加選手はスポーツ安全協会傷害保険もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。
④ 帯同審判を2名以上帯同できるチーム。
9. 競技方法 ① 8人制で行う。
② 競技方法はトーナメント方式とする。
③ 試合時間は30分(15分ハーフ・ハーフタイム5分)とする。
④ 勝敗が決しない場合はPK方式(3名)にて次回進出チームを決する。
準決勝・決勝のみ10分間(5分ハーフ)の延長戦を行い、それでも決しない場合はPK方式(3名)で決定する。
10. 競技規則 ① 競技規則は本年度(公財)日本サッカー協会制定の『サッカー競技規則』及び『8人制サッカー競技規則』による。
② チーム構成は指導者4名、選手16名以内とする。
③ 登録選手全員が、主審の許可を得ずに、交代ゾーンを使用して自由に交代することができる。交代して退いた競技者は交代要員となって再び出場できる。
④ 参加チームは試合開始前にメンバー表を提出する。
第1試合に提出したメンバーが本大会のエントリー選手となる。
⑤ 本大会において退場させられた者は次の1試合に出場できない。
そのチームの最終試合の場合は、次のエントリー大会に持ち越す。
ただし、該当チームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
1試合停止以降の処置については、本大会の規律委員会(4種委員会事務局)で決定する。
⑥ 本大会期間中、警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。
⑦ ベンチが判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。
⑧ 試合球は4号球(公認球)とし、事務局で準備することを基本とする。
⑨ スパイクは固定スタッドとし、レガースの着用を義務付ける。
⑩ ユニフォームは正・副2着以上用意する。ユニフォームには背番号をつける。
⑪ ピッチサイズは68m×50mを基本とし少年用サッカーゴールを使用する。
⑫ 3人制審判で行う。
11. 全道大会 本大会優勝チームには、平成30年9月15日(土)~17日(月)に札幌市で開催される、「トラック協会杯第30回全道少年団(U-11)サッカー大会」への参加を義務づける。
12. 参加申込 年度当初のエントリーに変更がある場合は、7月2日(月)までに4種委員長に連絡する。
13. メンバー表 プログラム用メンバー表は、7月17日(火)までに4種総務部長へメールで送付する。
14. 組み合わせ 7月18日(水)の監督会議にて抽選を行う。
15. 開会式 行わない。
16. 閉会式 8月26日(日)の決勝戦終了後、決勝戦会場で行う。
準決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することを基本とする。
17. その他 ① 本大会の参加料は1チーム3,000円とする。
② 参加チームは初日に電子登録証(一覧表、電子媒体等)の確認を行う。
③ 昨年度「全道U-10北海道大会釧路地区予選」ベスト4チーム(S C釧路、コンサドーレ、愛国、昭和)をシードする。
④ 出場チームは3級以上の審判、あるいは4級強化指定の審判を1名以上帯同する。
帯同できない場合は、不帯同審判料を事務局に支払う。
⑤ 全道大会には2級審判員の帯同が義務づけられている。もし帯同できない場合は、不帯同審判料16,200円を振り込むこと。